



アスナビの動きを伝える「アスナビニュース」。アスナビで就職が決定した選手の最新の活動などをお伝えします。

●今できることは何か？企業・アスリートの取り組みを紹介します●

「仕事や働き方の変化」「競技への向きあい方」「コミュニケーションや発信」「サポート」

今号と次号は、約160社のアスナビ採用企業担当者へ行ったアンケートから、各社の取り組みや選手の近況、今年の新入社アスリートの様子などをご紹介します。

コロナ環境下で社会全体の働き方やコミュニケーション方法が大きく変わる中、アスナビ選手にも大きな変化が訪れています。また大会が延期になり練習環境も充分でない中、選手たちは心を奮い立たせ競技に向き合っています。ここでご紹介した各社・各選手の取り組みが皆さまの今後の活動に繋がりますと幸いです。(各社コメント：上から選手名・競技名・企業名・選手近況や取り組み。敬称略)

溝口 友己歩

(陸上競技/競歩)

ホンダロジコム



基本的に個人練習ですが、週3日ほどタイムどり・動画撮影(フォーム確認)のため上司・先輩にサポートしてもらっています。入社後はユニフォーム(大会ユニフォーム、シューズ等)制作をデザイン選定から行ったり、社内報にて自己紹介や近況報告を行っています。また、現在コロナ禍で延期等により大会に出場できていませんが、大会時の応援のぼりを早々に職場の上司が作成してくださいました。加えて本社と陸上競技部連携をスムーズにするため(部費管理等)社内システムを整備していただき、充実した練習を行えています。(本人談)